

エムウェーブ、ホワイトリング、アクアウイングは営利目的の施設ではないため、**長野市の歳出は歳入を大きく上回っているが、指定管理者の株式会社エムウェーブは現在黒字基調である。**これはどういうことだろうか？

エムウェーブと白馬ジャンプ台には、オリンピック記念館として、資料館が併設されている。桐箱に収められた招致ファイル、開会式の衣装、競技者の視線で撮影された映像・ボブスレーのシミュレータなどの展示がある(右下の写真)。売店では、オリンピック開催時のグッズなども売られている。

白馬村では、白馬ジャンプ台、クロスカントリーコースのスノーハープを管理している。ジャンプ台見学者は、グラフに示すように1998年のオリンピックイヤーをピークに、年々減少している。ジャンプ台は、二度三度と見たいというものではないため、リピーターが出ない。

一方、スノーハープについては、2004年以降にイベント等利用者が増えていて、夏には小中学生のマウンテンバイク全国大会なども開かれているものの、実は野芝の維持管理が大変である。ダメージを受けると復帰が遅く、復帰に3年かかったことがあり、その間は利

用できなかった。これではとても有効利用とは言えない。

わずか2週間ほどのオリンピック開催のつめあとは、10年後の今も顕著に残っている。二度と同じ轍を踏んではなるまい。

(写真はすべて、2008年2月に撮影)



白馬ジャンプ台

